

令和3年9月議会

## 生活環境委員会報告資料

○1000N系車両の更新について

令和3年9月10日  
交 通 局

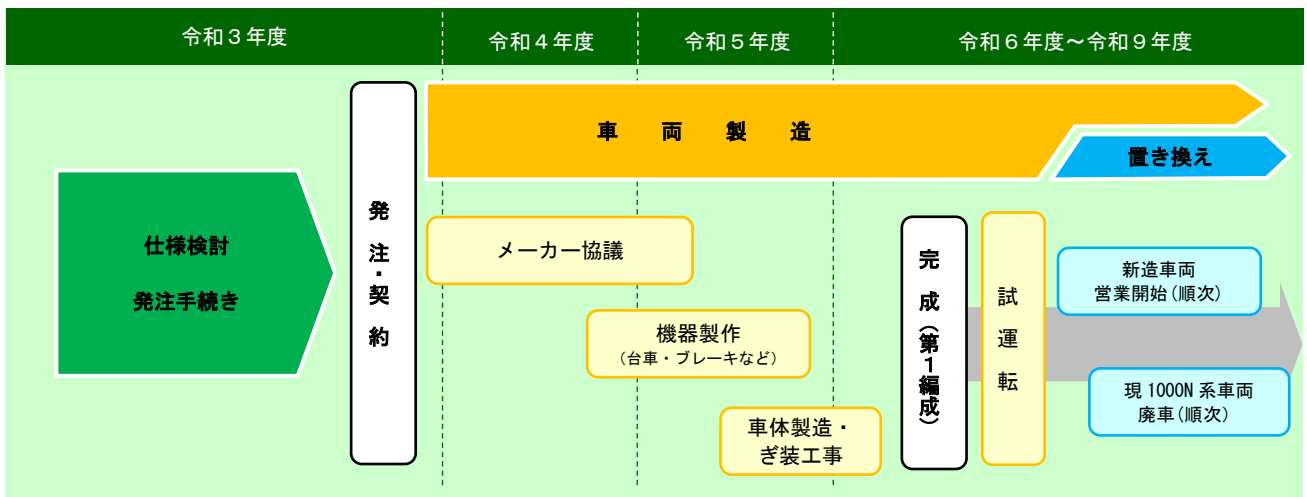
## 1 1000N系車両更新事業

空港・箱崎線で使用している1000N系車両については、昭和56年の開業から順次営業投入されており、車体や主要な機器が経年劣化していることから、全18編成を対象に新造車両へ更新する。

### <事業の概要>

- ◇更新予定時期 令和6年度から令和9年度
- ◇更新対象編成 1000N系車両（18編成108両）
- ◇事業費 約260億円

### <スケジュール（予定）>



(参考) 現行の1000N系車両

## 2 車両更新の方向性

福岡市が目指す「ユニバーサル都市・福岡」の実現に向け、一人ひとりにやさしい移動空間を提供できる新造車両導入を目指す。

## 3 新造車両に導入する予定の主な設備等

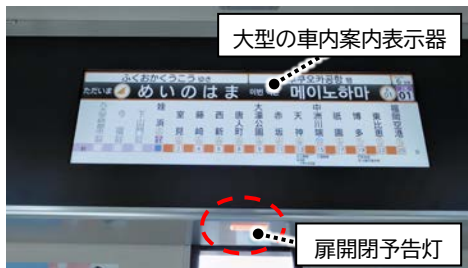
新造車両については、他の事業者の最新車両も参考にしながら、バリアフリー設備や情報提供の充実、安全・安心につながる設備導入を図る。

また、車体の軽量化や照明のLED化など、更なる省エネルギー化にも取り組む。

### ▼既存1000N系から機能強化・新規導入を予定する主な設備等

#### ①バリアフリー（写真は2000N系車両の例）

##### ●扉開閉予告灯・チャイム



##### ●優先スペースの二段手すり



##### ●乗降口の注意喚起（床に黄色のライン）



#### ②車内案内表示

- 大型の車内案内表示器  
(上の写真参照)
- 運行情報の提供

#### ③安全・安心

- 衝突安全性の向上
- 抗菌・抗ウイルス対策のさらなる推進

#### ④静粛性

- 機器の低騒音化
- ブレーキ音の低減

#### ⑤省エネ・省メンテナンス

- 室内灯、モーターなどの省エネ化、軽量化
- 耐腐食材料の使用などによる省メンテナンス化